

総合的な学習の時間での展開例

坂東市立沓掛小学校第6学年版

- 1 単元名 「ICTミッション・コンプリート!! ②-2」
～ICTを利用して、シナリオ問題を解決しよう～

2 単元の目標

- (1) シナリオ課題を正しく解釈し、問題解決に必要な課題を見つけ、よりよい解決方法を考えようとしている。
(課題把握の力)
- (2) シナリオ課題の解決に向けて、インターネットなどの様々な情報を効果的に収集し、取捨選択している。
(課題追求の力)
- (3) 自分の考えや仕上げた作品を分かりやすくまとめたり、ふさわしい表現方法を用いて伝えようとしている。
(伝え合う力)
- (4) ICT活用のよさに気付き、総合的な学習の時間やほかの教科、家庭でも積極的に活用しようとしている。
(関心・意欲・態度)

3 使用する課題(シナリオ)について

- (1) 学習活動名 健康・食育
- (2) 主となる探究の過程 情報の収集
- (3) 資 料 2-② Web検索課題「トマトを使ったレシピ探し」

学校で、体にいいレシピづくりについて調べています。私たちの地区はトマトの生産がとても有名です。そこで、このトマトを材料にした、小学生でも簡単に調理ができる、栄養のバランスがとれたレシピがあつたら、みんなに紹介してみたいと考えています。もし一つ選ぶとしたらどんな料理がいいかなあ。さっそく家でも作ってみたいなあ。

※小学校の家庭で学習した調理法(ゆでる、いためる、お米をたく、みそ汁を作る)の中から探ししましょう。

※選んだレシピ一つと、選んだ理由を提出箱の②-2文書ファイルの中に入力し、保存しましょう。

※自分の考えの根拠や理由になった資料名やWebサイト名についても入力しましょう。

(4) 情報活用の実践力の評価の観点とシナリオとの相関関係について

- ◎・・・シナリオ解決に必須の項目 ○・・・ICT活用の有用性あり

	収 集	判 断	処 理	表 現	創 造	発 信	伝 達
②-2	◎ インターネットエクスプローラー	◎		ワード パッド			

(5) 使用ICT

◎インターネットエクスプローラー (YAHOO!きっず)

○ワードパッド (Windowsに標準にインストールされているワープロソフト)

(6) 関連教科・領域等名

家庭 第5・6学年 内容B 日常の食事と調理の基礎

4 展開 (2時間取り扱い)

時間	学習活動	指導・援助の留意点
5分	1 ICTの操作技能の確認 ①タスク切り替え ②コピー＆ペースト	・教師用の画面を映したスクリーンに注目させ、実際に実演しながら基本操作を確認していく。
5分	2 シナリオの確認 ・一班、3人一組で9班構成 ・制限時間は30分 ・解答の提出は提出箱に保存する。 ・「活動まとめシート」を基に、活動報告会を一班2分以内で行う。 ・最後に「活動ふり返りカード」を仕上げる。	・今まで学習してきた、ICTを活用する力と、問題を解決する力を同時に使うことを話す。 ・制限時間を無駄なく使い、よりよい結果が残せるように助言する。 ・家庭科で学習した範囲(ゆでる・いためる・お米をたく・みそ汁を作る)の範囲で調理できることを確認する。

時間	学習活動	指導・援助の留意点
35分	<p>3 実際にシナリオを取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオを熟読し、解決への見通しを持ってから取り組む。 ・シナリオ解決までの活動を、「活動まとめシート」に記録していく。 ・必要に応じて、メモ用紙や色画用紙、上質紙、マジックペンなどを自由に使ってもよい。 ・出来上がった解答は提出箱に保存させ、その後プリンターでチームの人数分印刷をしておく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ＩＣＴだけの利用だけでなく、紙ベースの活動にも対応できるよう、コーナーを作つておく。 ・操作方法で戸惑っているチームには最低限必要なだけの援助をする。 ・制限時間内にシナリオの解決だけでなく、「活動まとめシート」まで作成できるよう全体に呼びかける。 ・もし時間が余れば、活動報告会の練習などもしてもよいこととする。
5分	休憩	
25分	<p>4 活動報告会を開く。</p> <p>(1)児童の画面の転送機能を使って全員のコンピュータの画面に映しながら報告・質疑応答をする。</p> <p><活動報告会で検討する内容></p> <p>ア 課題解決までの道筋 イ レシピを選んだ理由 ウ ＩＣＴを使った場面やそのよき エ 質問（その場で応答） ※一班あたり2分程度</p> <p>(2)他の班の作成した画面を閲覧しながら、アドバイスや感想を書いた付せんを貼っていく。 アドバイス・・・黄色の付せん 感想・・・・・・青色の付せん</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告時間をきちんと守るために教師が計時して知らせることとし、簡潔で分かりやすい表現ができるように助言していく。 ・誰が聞いても納得できるような理由を説明するためには、その根拠をしっかりと示すことが大切である。また、その根拠は集めた資料の中から得られるよう助言していく。 ・活動報告会では誰もができるだけ1回以上、発言できるよう話をし、相手の班に役に立つような質問やアドバイスが合った場合はシールをあげるようにする。 ・もらったシールは「活動ふり返りカード」のシールの添付場所に張らせておく。
15分	<p>5 「活動ふり返りカード」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10分程経過したら、2～3人発表し、友達の感想を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の班に戻り、活動報告会での質問やアドバイスを生かし、修正・発展させながら自分の「活動ふり返りカード」を作成していく。
5分	6 先生からの話	<ul style="list-style-type: none"> ・ＩＣＴを上手に活用できた班の紹介や、使用上のポイントを教師から話し、自分たちの情報の活用法をふり返らせる。

総合的な学習の時間での展開例

坂東市立沓掛小学校第6学年版

- 1 単元名 「ICTミッション・コンプリート!! ③-1」
～ICTを利用して、シナリオ課題を解決しよう～
- 2 単元の目標
 - (1) シナリオ課題を正しく解釈し、問題解決に必要な課題を見つけ、よりよい解決方法を考えようとしている。
(課題把握の力)
 - (2) シナリオ課題の解決に向けて、インターネットなどの様々な情報を効果的に収集し、取捨選択している。
(課題追求の力)
 - (3) 自分の考えや仕上げた作品を分かりやすくまとめたり、ふさわしい表現方法を用いて伝えようとしている。
(伝え合う力)
 - (4) ICT活用のよさに気付き、総合的な学習の時間やほかの教科、家庭でも積極的に活用しようとしている。
(関心・意欲・態度)
- 3 使用する課題(シナリオ)について
 - (1) 学習活動名 福祉
 - (2) 主となる探究の過程 整理・分析
 - (3) 資料 ③-1 Web評価課題「有効性のあるWebサイト探し」

総合的な学習の時間で、私たちのグループは「点字」について調べています。今度、交流をもっていた特別支援学校の皆さんに、点字で表した学校紹介のパンフレットを作成します。

しかし、点字を実際に打った経験がある友達は誰もいません、学校図書館にも本や資料がありませんでした。そこでWebで検索をしたら5つのサイトが見つかりました。

※道具箱の資料の点字フォルダの中にある、5つのWebサイトの中で一番役に立ちそうなサイトを一つ選びましょう。

※提出箱の③-1文書ファイルの中に、選んだサイト名と、誰が聞いても納得するような選んだ理由や根拠を入力し、保存しましょう。

- (4) 情報活用の実践力の評価の観点とシナリオとの相関関係について
 ◯・・・シナリオ解決に必須の項目 ◯・・・ICT活用の有用性あり

	収集	判断	処理	表現	創造	発信	伝達
③-1	<input checked="" type="radio"/> インターネットエクスプローラー	<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/> ワードパッド	<input checked="" type="radio"/>			

- (5) 使用ICT
 - ワードパッド
 - インターネットエクスプローラー（5つのWebサイトの閲覧）
- (6) 関連教科・領域等名
国語 第5・6学年 内容C 読むこと (1) 力 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで比べて読むこと。
資料：国語 第4学年教科書（光村） 説明文 「手と心で読む」

4 展開（2時間取り扱い）

時間	学習活動	指導・援助の留意点
5分	1 本時の授業の確認 (1) ICTの操作技能の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・タスク切り替えコピー&ペースト (2) シナリオ課題の進め方の確認 <ul style="list-style-type: none"> ・一班、3人一組で9班構成 ・制限時間は30分（程度） ・解答の提出は提出箱に保存する。 ※理由・根拠も忘れずに入力する。 <ul style="list-style-type: none"> ・「活動まとめシート」を作成し、班ごとに活動報告会を行う。 ・最後に「活動ふり返りカード」を仕上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が画面を映したスクリーン上で、実際に実演しながら操作を確認する。 ・今まで学習してきたICTを活用する力と、問題を解決する力を合わせて使い、3人でアイディアを出し合いながら解決していくことを話す。 ・制限時間を無駄なく使うことや、ICTの操作は3人で交代しながら行うことを助言する。

時間	学習活動	指導・援助の留意点
5分	2 シナリオ課題の見通しを立てる。 <ul style="list-style-type: none"> シナリオ本文を熟読し、解決への見通しを明確化する。 「活動まとめシート」にシナリオの解決（ゴール）を記入する。 	・誰が聞いても納得できるような説明を行うためには「根拠」を示すことが大切であり、その「根拠」は資料の中から提示できるよう助言する。
35分	3 シナリオ課題を取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> シナリオ解決までの活動を、「活動まとめシート」に記録していく。 出来上がった解答は提出箱に保存させ、その後プリンターで班の人数分印刷をしておく。 <p>※必要に応じて、メモ用紙や色画用紙、上質紙、ペン、作文用紙などを自由に使ってよい。</p>	・ＩＣＴだけの利用だけでなく、紙ベースの活動にも対応できるよう、作業コーナーを作つておく。 •操作方法で戸惑っている班には最低限必要なだけの援助をする。 •制限時間内にシナリオの解決だけでなく、「活動まとめシート」まで作成できるよう全体に呼びかける。 •時間が余れば、活動報告会の練習などもしてもよいこととする。
5分	休憩	
20分	4 活動報告会を開く。 <p>(1) 児童の画面の転送機能を使って全員のコンピュータの画面に映しながら報告・質疑応答をする。</p> <p><活動報告会で発表する内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ア 選んだＷｅｂサイト名 イ サイトを選んだ理由（説明） ウ ＩＣＴを使った場面やそのよさ エ 質問（その場で応答） 	・報告会は簡潔で分かりやすい表現ができるよう事前に発表の打ち合わせをさせておく。 •多くの児童が発言しやすくなるよう、相手の班に役に立つような質問やアドバイスの場合はシールをあげ、「活動ふり返りカード」のシールの添付場所に張らせておく。 •発表会を聞きながら付せんにコメントを書いておくなど準備をさせておく。
10分	(2) 他の班の作成した画面を閲覧しながら、アドバイスや感想を書いた付せんを貼っていく。 <ul style="list-style-type: none"> アドバイス・・・黄色の付せん 感想・・・・・・青色の付せん 	・アドバイスは単なる批判になるのではなく、相手が不愉快にならないような文章表現や、具体的な改良点が分かるような助言ができるようにさせる。
10分	5 「活動ふり返りカード」を作成する。 <ul style="list-style-type: none"> 7～8分程経過したら、2～3人発表し、友達の感想を聞く。 	・自分の班に戻り、活動報告会での質問やアドバイスを生かし、修正・発展させながら自分の「活動ふり返りカード」を作成していく。
5分	6 先生からの話	・ＩＣＴを上手に活用できた班の紹介や、使用上のポイントを教師から話し、自分たちの情報の活用法をふり返らせる。

総合的な学習の時間での展開例

坂東市立沓掛小学校第6学年版

- 1 単元名 「ICTミッション・コンプリート!! ③-3」
～ICTを利用して、シナリオ課題を解決しよう～
- 2 単元の目標
 - (1) シナリオ課題を正しく解釈し、問題解決に必要な課題を見つけ、よりよい解決方法を考えようとしている。
(課題把握の力)
 - (2) シナリオ課題の解決に向けて、インターネットなどの様々な情報を効果的に収集し、取捨選択している。
(課題追求の力)
 - (3) 自分の考えや仕上げた作品を分かりやすくまとめたり、ふさわしい表現方法を用いて伝えようとしている。
(伝え合う力)
 - (4) ICT活用のよさに気付き、総合的な学習の時間やほかの教科、家庭でも積極的に活用しようとしている。
(関心・意欲・態度)
- 3 使用する課題(シナリオ)について
 - (1) 学習活動名 国際理解
 - (2) 主となる探究の過程 整理・分析
 - (3) 資 料 ③-3 資料の判断課題「ALTの先生への茨城県の紹介作り」

来日〇年目のALTの先生(〇〇〇出身)に茨城県のことを紹介することになった。各班ごとにテーマを決めて、写真を5枚選んでプロジェクトで大きく映し出して紹介することになった。困ったなあ、今持っている写真は1枚もない。どうしようか？

※道具箱の資料フォルダの中に写真がたくさん入っているのを見つけた。それらの中から必要な写真を5枚選びましょう。

※プレゼンソフトは「まとめツール」を利用しましょう。プレゼンのデータは、「まとめツール」を立ち上げ、読みこみをクリックして提出箱の③-3プレゼンファイルを選び、写真を貼り付け、『〇〇な(の)茨城県』のように、紹介するときのテーマや写真のタイトルなどを入力し、保存しましょう。

※実際に学校に来校してくるALTの先生としてシナリオを取り組みましょう。

※報告会では班ごとに発表会をします。

- (4) 情報活用の実践力の評価の観点とシナリオとの相関関係について

◎・・・シナリオ解決に必須の項目 ○・・・ICT活用の有用性あり

	収 集	判 断	処 理	表 現	創 造	発 信	伝 達
③-3	○ インターネット エクスプローラー	◎	○	○ まとめツール	○ ワード・パッド		○

- (5) 使用 ICT

◎まとめツール（小学生用プレゼンテーションソフト、フリーソフト）
○ワードパッド（台本作成）

○インターネットエクスプローラー(Webサイト『観光いばらき』閲覧)

※児童の準備物：「わたしたちの茨城県」（第4学年で配布）、他、県の観光資料など

- (6) 関連教科・領域等名

社会 第4学年 内容(6) 県（都、道、府）の様子

国語 第5・6学年 内容A 話すこと聞くこと (2) ア 資料を提示しながら説明や報告をする。

4 展開（2時間取り扱い）

時間	学習活動	指導・援助の留意点
5分	1 本時の授業の確認 (1) ICTの操作技能の確認 • プrezentソフト「まとめツール」の簡単な使い方について (2) シナリオ課題の進め方の確認 • 一班、3人一組で9班構成 • 制限時間は30分（程度） • 解答の提出は提出箱に保存する。	<ul style="list-style-type: none"> 事前に担任から本時のシナリオと県の写真を掲示し、作戦を練らせておく。 教師が画面を映したスクリーン上で、実際に実演しながら操作を確認する。 今まで学習してきたICTを活用する力と、問題を解決する力を合わせて使い、3人でアイディアを出し合いながら解決していくことを話す。

時間	学習活動	指導・援助の留意点
5分	<p>※理由・根拠も忘れずに入力する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「活動まとめシート」を作成し、班ごとに活動報告会を行う。 ・最後に「活動ふり返りカード」を仕上げる。 <p>2 シナリオ課題の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオ本文を熟読し、解決への見通しを明確化する。 ・(打ち合わせが終わった班から)配布した茨城県の写真を基に、紹介するテーマを考える。 ・「活動まとめシート」にシナリオの解決(ゴール)を記入する。 <p>※実態に応じて作成例を提示し、活動のゴールをイメージしやすくする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制限時間を無駄なく使うことや、ICTの操作は3人で交代しながら行うことを助言する。 ・茨城県の様々な写真(204枚)をコンタクト印刷したものを配っておく。 ・誰が聞いても納得できるような説明を行うためには「根拠」を示すことが大切であり、その「根拠」は資料の中から提示できるよう助言する。 ・必要に応じてYAHOO!きっずで『観ないばらき』のWebサイトを閲覧し、参考にしてよいことを伝える。 ・県写真データの中の県の白地図は5枚の写真の中には含めず、表現のアイデア素材として活用しても良いとする。
35分	<p>3 シナリオ課題を取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シナリオ解決までの活動を、「活動まとめシート」に記録していく。 ・出来上がったプレゼンソフトのデータは提出箱に上書き保存し、その後班の人数分印刷をする。 <p>※必要に応じて、メモ用紙や色画用紙、上質紙、ペン、作文用紙などを自由に使ってよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTだけの利用だけでなく、紙ベースの活動にも対応できるよう、作業コーナーを作っておく。 ・操作方法で戸惑っている班には最低限必要なだけの援助をする。 ・制限時間内にシナリオの解決だけでなく、「活動まとめシート」まで作成できるよう全体に呼びかける。 ・時間が余れば、発表会の台本作成や練習などもしてもよいこととする。
5分	休憩	
25分	<p>4 活動報告会(発表会)を開く。</p> <p>(1)児童の画面の転送機能を使って全員のコンピュータの画面に映しながら報告・質疑応答をする。</p> <p><活動報告会で発表する内容></p> <p>ア テーマ名の発表 イ テーマの理由(説明) ウ ALTの先生への発表会 エ 質問(その場で応答)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会は、班ごとに実際に5枚の写真を(プレゼンソフトに貼り付け)を使って発表会をする。 ・多くの児童が発言しやすくなるよう、相手の班に役に立つような質問やアドバイスの場合はシールをあげ、「活動ふり返りカード」のシールの添付場所に張らせる。 ・発表会を聞きながら付箋にコメントを書いておくなど準備をさせておく。
5分	(2)アドバイスや感想を書いた付せんを貼りにいく。 ・アドバイス・・・黄色の付せん ・感想・・・・青色の付せん	<ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスは単なる批判になるのではなく、相手が不愉快にならないような文章表現や、具体的な改良点が分かるような助言ができるようにさせる。
10分	5 「活動ふり返りカード」を作成する。 ・7~8分程経過したら、2~3人発表し、友達の感想を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の班に戻り、活動報告会での質問やアドバイスを生かし、修正・発展させながら自分の「活動ふり返りカード」を作成していく。
5分	6 先生からの話	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを上手に活用できた班の紹介や、使用上のポイントを教師から話し、自分たちの情報の活用法をふり返らせる。

総合的な学習の時間での展開例

坂東市立沓掛小学校第6学年版

1 単元名 「ICTミッション・コンプリート!!④-2」
～ICTを利用して、シナリオ課題を解決しよう～

2 単元の目標

- (1) シナリオ課題を正しく解釈し、問題解決に必要な課題を見つけ、よりよい解決方法を考えようとしている。
(課題把握の力)
- (2) シナリオ課題の解決に向けて、インターネットなどの様々な情報を効果的に収集し、取捨選択している。
(課題追求の力)
- (3) 自分の考えや仕上げた作品を分かりやすくまとめたり、ふさわしい表現方法を用いて伝えようとしている。
(伝え合う力)
- (4) ICT活用のよさに気付き、総合的な学習の時間やほかの教科、家庭でも積極的に活用しようとしている。
(関心・意欲・態度)

3 使用する課題(シナリオ)について

- (1) 学習活動名 福祉・地域
- (2) 主となる探究の過程 まとめ・表現
- (3) 資 料 ④-2 電子メール課題「電子メールで礼状・招待状作り」

先日、総合的な学習の時間の体験活動でお世話になった、ボランティア団体『〇〇の会』の方たちに、お礼状を書くことになりました。『〇〇の会』とは先生を通して電子メールで連絡を取り合っていた方たちです。今度学校のお祭りで、先日の体験活動をもとにした内容の発表を発表するので、『〇〇の会』の方たちにもぜひ見に来ていただきたいと考えました。

※学校のお祭りは、実際の自分の学校の同じような行事として考えましょう。また、実際には発表しなくても、発表することとして取り組みましょう。

※『〇〇の会』は、今までの総合的な学習の時間の中でお世話になった方々や団体の名前を使いましょう。

※メールは実際には外に送信されません。送信後は先生のパソコンに届きます。

※実際のボランティア団体の「ぶんぶんくらぶ」に低学年への読み聞かせ方についてご指導して頂いたこととして、このシナリオに取り組むこととする。

※学校のお祭りは毎年2学期に行われる「沓小まつり」として取り組むこと。

- (4) 情報活用の実践力の評価の観点とシナリオとの相関関係について
◎・・・シナリオ解決に必須の項目 ○・・・ICT活用の有用性あり

	収 集	判 断	処 理	表 現	創 造	発 信	伝 達
④-2	○ インターネット エクスプローラー	○	○	○ 電子メール	○ 電子メール	○ 電子メール	

(5) 使用 ICT

- 電子メール(LAN内で送・受信ができるLANメッセンジャー、フリーウェア)
- インターネットエクスプローラー(自校Webサイトなどからの情報収集)

(6) 関連教科・領域等名

第3・4学年 国語 B書くこと（目的に合わせて依頼状、案内状、礼状などの手紙をかくこと）

4 展開（2時間取り扱い）

時間	学習活動	指導・援助の留意点
10分	1 本時の授業の確認 (1) ICTの操作技能の確認 ・電子メール「LANメッセンジャー」の簡単な使い方について (2) シナリオ課題の進め方の確認 ・一班、3人一組で9班構成 ・制限時間は30分(程度) ・解答提出はメール送信と兼ねる。	・実際に「LANメッセンジャー」を起動させ、教師と一緒に実際に実演しながら操作を確認する。受信箱や送信箱、返信などICTの用語も確認しておく。 ・今まで学習してきたICTを活用する力と、問題を解決する力を合わせて使い、3人でアイディアを出し合いながら解決していくことを話す。

時間	学習活動	指導・援助の留意点
5分	<ul style="list-style-type: none"> 「活動まとめシート」を作成し、班ごとに活動報告会を行う。 最後に「活動ふり返りカード」を仕上げる。 <p>2 シナリオ課題の見通しを立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> シナリオ本文を熟読し、解決への見通しを話し合う。 「活動まとめシート」にシナリオの解決（ゴール）を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 制限時間を無駄なく使うことや、ＩＣＴの操作は3人で交代しながら行うことを助言する。 受信箱の中から目当てのメールを探し出して表示する段階まで、全員で行う。
30分	<p>3 シナリオ課題を取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> シナリオ解決までの活動を、「活動まとめシート」に記録していく。 出来上がったメール本文は送信して、課題の提出とする。 班の人数分印刷をしておく。 <p>※必要に応じて、メモ用紙や色画用紙、上質紙、ペン、作文用紙などを自由に使ってよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全員で礼状、招待状の書き方や注意点などを話し合い、大人の方への手紙の書き方を復習する。 操作方法で戸惑っている班には最低限必要なだけの援助をする。 <p>・制限時間内にシナリオの解決だけでなく、「活動まとめシート」まで作成できるよう全体に呼びかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 送信前に、互いにメールを読み合い、情報発信者としての意識を高めさせる。 ＩＣＴだけの利用だけでなく、紙ベースの活動にも対応できるよう、作業コーナーを作成しておく。
5分	休憩	
25分	<p>4 活動報告会を開く。</p> <p>(1) 教師の画面の転送機能を使って全員のコンピュータの画面に映しながら報告・質疑応答をする。</p> <p><活動報告会で発表する内容></p> <p>ア アピールポイントの発表 イ メール本文の発表 ウ 質問（その場で応答）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多くの児童が発言しやすくなるよう、相手の班に役に立つような質問やアドバイスの場合はシールをあげ、「活動ふり返りカード」のシールの添付場所に張らせる。 発表会を聞きながら付せんにコメントを書いておくなど準備をさせておく。
5分	<p>(2) アドバイスや感想を書いた付せんを貼りにいく。</p> <ul style="list-style-type: none"> アドバイス・・・黄色の付せん 感想・・・・・・青色の付せん 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイスは単なる批判になるのではなく、相手が不愉快にならないような文章表現や、具体的な改良点が分かるような助言ができるようにさせる。
10分	<p>5 「活動ふり返りカード」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 7～8分程経過したら、2～3人発表し、友達の感想を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の班に戻り、活動報告会での質問やアドバイスを生かし、修正・発展させながら自分の「活動ふり返りカード」を作成していく。
5分	6 先生からの話	<ul style="list-style-type: none"> ＩＣＴを上手に活用できた班の紹介や、使用上のポイントを教師から話し、自分たちの情報の活用法を振り返らせる。